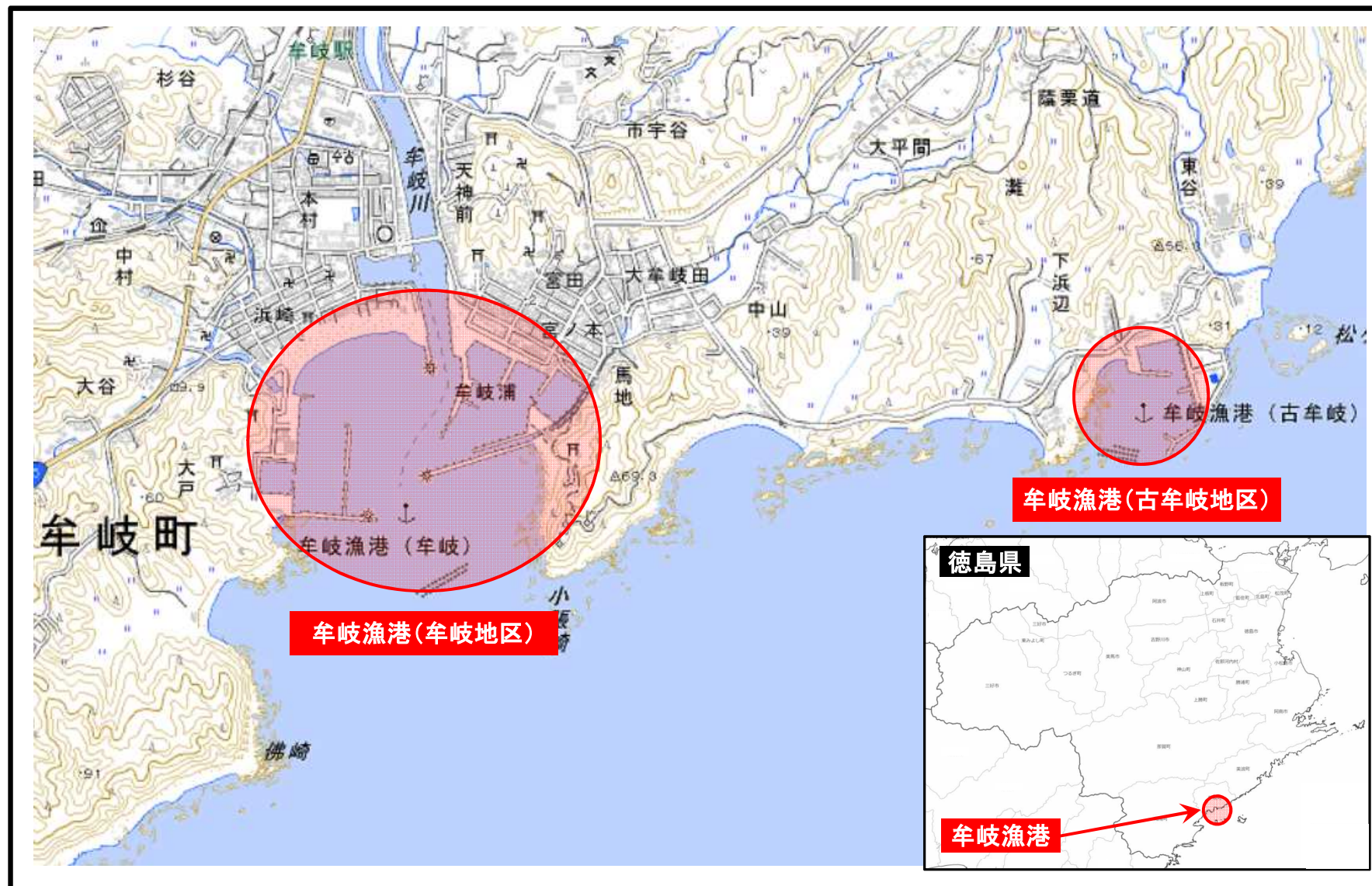


再評価【番号10】

広域漁港整備事業
牟岐・古牟岐地区

1.事業箇所



2.古牟岐地区①

古牟岐地区

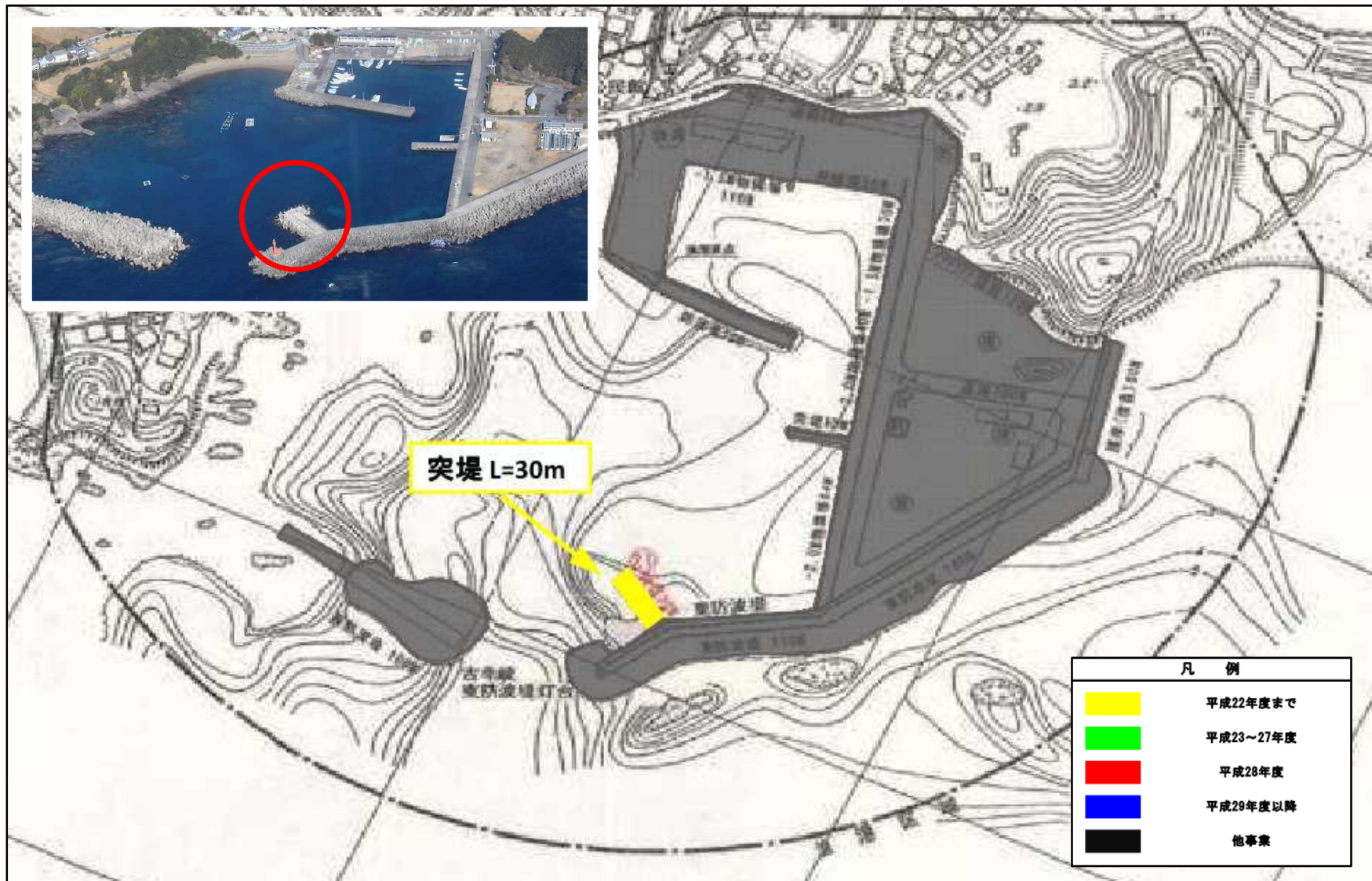
- 港内の波が高く、台風等で海が荒れると波の影響で漁港施設がたびたび被災



波によって破壊された
岸壁コンクリート



3.古牟岐地区②(整備状況)



4. 牟岐地区①(社会情勢の変化)

防災拠点漁港

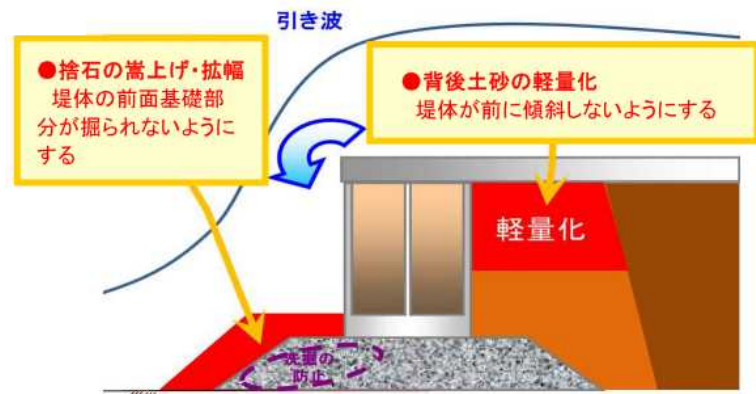
- 平成24年度に徳島県地域防災計画において、「防災拠点漁港」に位置づけられた

➡ 南海トラフ巨大地震等の発生直後から物資や避難者の輸送が可能となる強さを有することが必要

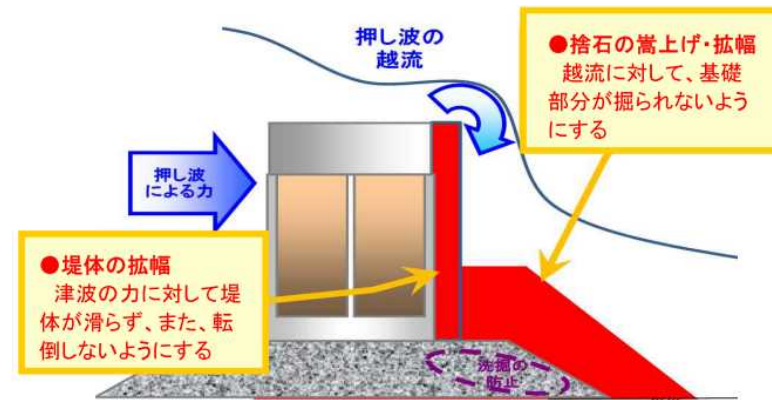
指針の改定

- 東日本大震災を契機として、漁港施設の耐震化・耐津波化に関する指針が改定

➡ L1津波に対して機能を維持し、それを超える津波にも全壊しにくく、全壊に至る時間を少しでも延ばす構造上の工夫(粘り強い構造)が必要

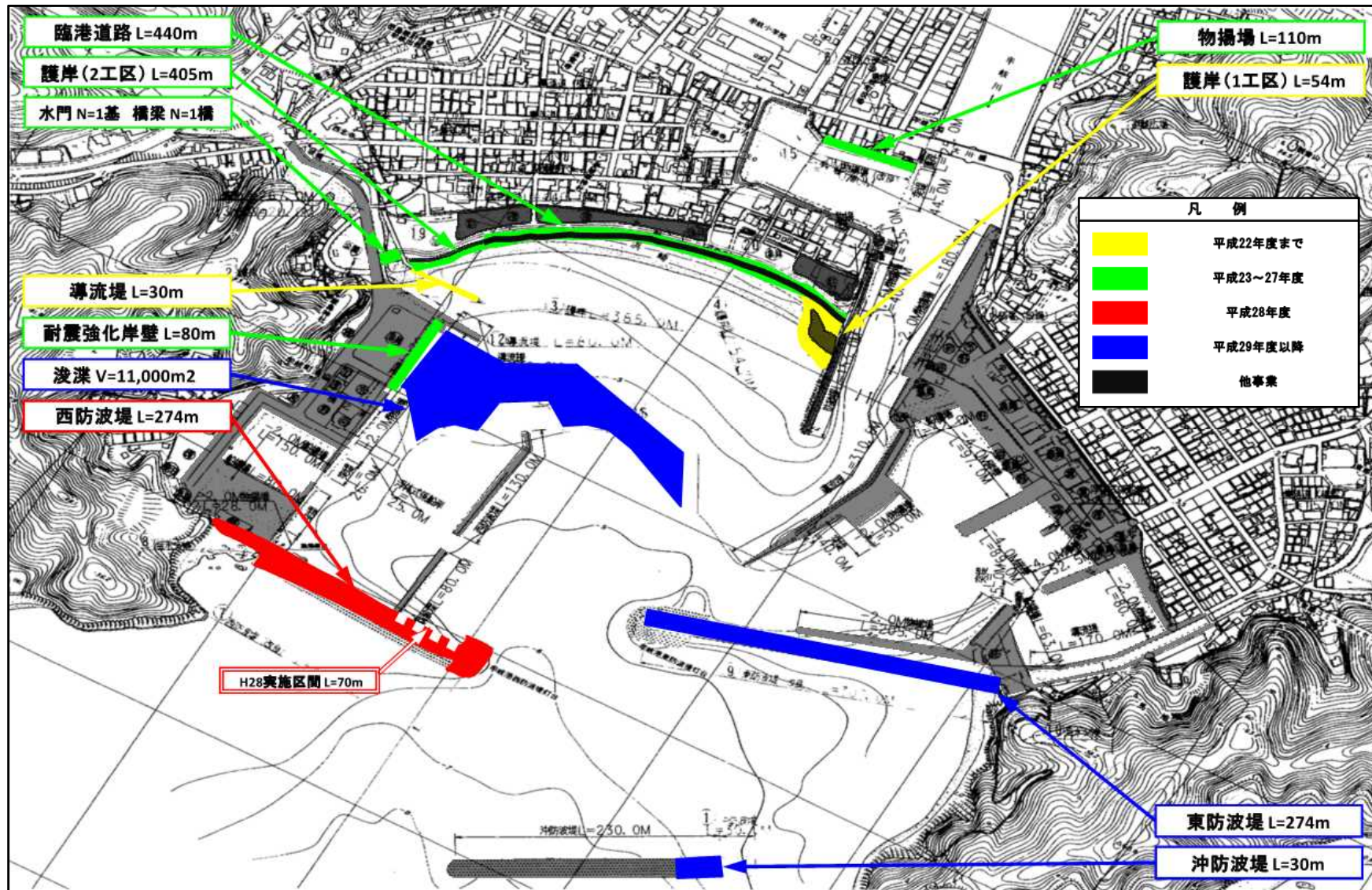


【岸壁の粘り強い化】



【防波堤の粘り強い化】

5. 牟岐地区②(整備状況)



6. 牟岐地区③(状況写真)



7.費用対効果

便益(B)

■ 総事業効果額	<u>3,638,143</u> 千円
▪ 水産物生産コストの削減効果	934,625 千円
▪ 漁業就業者の労働環境改善効果	1,076,423 千円
▪ 生活環境の改善効果	58,089 千円
▪ 生命・財産保全・防護効果	1,569,004 千円

費用(C)

■ 事業費	<u>3,062,424</u> 千円
-------	---------------------

※金額は現在価値化金額

費用対便益(B/C)

$$B / C = 3,638,143 / 3,062,424 = \underline{1.19}$$